

十字架による完全な救い

23:32 ほかにもふたりの犯罪人が、イエスとともに死刑にされるために、引かれて行った。

23:33 「どくろ」と呼ばれている所に来ると、そこで彼らは、イエスと犯罪人とを十字架につけた。犯罪人のひとは右に、ひとは左に。

23:34 そのとき、イエスはこう言われた。「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」彼らは、くじを引いて、イエスの着物を分けた。

23:35 民衆はそばに立ってながめていた。指導者たちもあざ笑って言った。「あれは他人を救った。もし、神のキリストで、選ばれた者なら、自分を救ってみろ。」

23:36 兵士たちもイエスをあざけり、そばに寄って来て、酸いぶどう酒を差し出し、

23:37 「ユダヤ人の王なら、自分を救え」と言った。

23:38 「これはユダヤ人の王」と書いた札もイエスの頭上に掲げてあった。

23:39 十字架にかけられていた犯罪人のひとはイエスに悪口を言い、「あなたはキリストではないか。自分と私たちを救え」と言った。

23:40 ところが、もうひとりのほうが答えて、彼をたしなめて言った。「おまえは神をも恐れぬのか。おまえも同じ刑罰を受けているではないか。」

23:41 われわれは、自分のしたことの報いを受けているのだからあたりまえだ。だがこの方は、悪いことは何もしなかったのだ。」

23:42 そして言った。「イエスさま。あなたの御国の位にお着きになるときには、私を思い出してください。」

23:43 イエスは、彼に言われた。「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。」

23:44 そのときすでに十二時ごろになっていたが、全地が暗くなって、三時まで続いた。

23:45 太陽は光を失っていた。また、神殿の幕は真っ二つに裂けた。

23:46 イエスは大声で叫んで、言われた。「父よ。わが霊を御手にゆだねます。」こう言って、息を引き取られた。

23:47 この出来事を見た百人隊長は、神をほめたたえ、「ほんとうに、この人は正しい方であった」と言った。

23:48 また、この光景を見に集まっていた群衆もみな、こういういろいろの出来事を見たので、胸をたたいて悲しみながら帰った。

はじめに

今日の聖書箇所は聖書全体の中でも、人の救いの条件を一番明白に見せてくれる事例だと思います。それと同時に神様はどんなに私達人間の魂の救いを望んでおられるかということを見せてくれる箇所です。イエス様と共に処刑された犯罪者の一人はぎりぎり、死ぬ数分前に救われました。それで人が救われる条件が明確になっています。もちろん、このように救われる為に最後の機会を待つように勧めている訳ではありません。それはとても危険な事で、誰も自分の最後の救われる機会がいつ来るのを知りません。しかも、人間は勝手に自分の悔い改める時を決める事はできず、神様の働きによって悔い改めるように導かれる時にしか出来ません。

ローマの手紙2:3 「そのようなことをしている人々をさばきながら、自分で同じことをしている人よ。あなたは、自分は神のさばきを免れるのだとでも思っているのですか。

2:4 それとも、神の慈愛があなたを悔い改めに導くことも知らないで、その豊かな慈愛と忍耐と寛容とを軽んじているのですか。」

今、イエス様を信じて受け入れたいと言う思いがあれば、今、悔い改めの祈りをしてイエス様を自分の救い主として受け入れれば、必ず神様に受けられます。

1. 十字架による赦しときよめ。

この箇所は人がどのようにして罪の赦しを頂き、きよめられるのか、つまり人の救いの条件を明白にしてくれています。犯罪人は死刑になるぐらいの罪を犯して来た人です。

23:41 「われわれは、自分のしたことの報いを受けているのだからあたりまえだ。だがこの方は、悪いことは何もしなかったのだ。」

23:42 そして言った。「イエスさま。あなたの御国の位にお着きになるとときには、私を思い出してください。」

この箇所の素晴らしい所ははっきり救いの条件を見せてくれているところです。教会や教団は、組織的になってしまったら、つまり、組織が一番大切になってしまったら、色々な規則を作り、気をつけなければその規則を聖書と同じように教えてしまう事があります。イエス様はその当時の宗教的指導者達に叱って言いました。

マタイ15:7 「偽善者たち。イザヤはあなたがたについて預言しているが、まさにそのとおりです。

15:8 『この民は、口先ではわたしを敬うが、その心は、わたしから遠く離れている。

15:9 彼らが、わたしを拜んでも、むだなことである。人間の教えを、教えとして教えるだけだから。』」

キリスト教会の中でそうなってしまうと、結果的に救われる為に余計な条件を付け加えてしまう事があります。

たとえば、洗礼を受けていないと救われず、教会員になっていないと救われず、盗んだ物を返していないと救われず、聖餐式に参加していないと救われず、等です。これらの事は素晴らしい事で、クリスチャンとして出来る限り、証として行えば信仰が強く成長するので大切ですが、救いの条件ではありません。

23:43 「イエスは、彼に言われた。「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。」

「まことにあなたがたに告げます」というのは、イエス様が特に強く強調して話す時に使う表現です。彼は間違いなく救われましたが、洗礼を受けていないままで、教会員になっていないままで、何も盗んだ物を返してないままで。

どのように救われたかを見ましょう。先ほど見た41-42節に書いてあります。

23:41 「われわれは、自分のしたことの報いを受けているのだからあたりまえだ。」

自分の罪を認めています。

42 「そして言った。「イエスさま。あなたの御国の位にお着きになるとときには、私を思い出してください。」

イエス様を救い主として見てお願いをし、人の前で告白しています。彼はそれだけで確実に救われました。正に、他の聖書と箇所と一致しています。

ローマ10：9 「なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。」

これが、救われる条件です。それ以外は何もありません。

2. 十字架による守りと勝利。

コロサイ2:14 「いろいろな定めのために私たちに不利な、いや、私たちを責め立てている債務証書を無効にされたからです。神はこの証書を取りのけ、十字架に釘づけにされました。

2:15 神は、キリストにおいて、すべての支配と権威の武装を解除してさらしものとし、彼らを捕虜として凱旋の行列に加えられました。」イエス様は十字架によって、私達の為に全ての悪に打ち勝つ勝利をすでに獲得して下さっています。悪霊を全部武装解除して捕虜として支配して下さっていますから、当然、全ての悪からの守りも含まれています。彼らはイエス様の許す範囲しか動かせませんが、逆にイエス様は私達を守る為にそれを許しています。十字架の上ですべての呪いを祝福に変えて下さっています。その為にイエス様自身が呪いとなって下さいました。

第二コリント12:7. 「また、その啓示があまりにもすばらしいからです。そのために私は、高ぶることのないようにと、肉体に一つのとげを与えられました。それは私が高ぶることのないように、私を打つための、サタンの使いです。」

神様に与えられた肉体のとげとして受け止めていながら、それは「私を打つ為の悪魔の使い」と言っています。神様の子ども達は打たれないのではなくて、守りと勝利の中で打たれ強くなって行きます。その勝利の中で生きる為に信仰の戦いをする必要があります。一点目の中で言いましたが、救いの条件ではないけれども、洗礼や教会の交わり、それ以外の事でも、イエス様の証になる事は何でも、信者の信仰を強めます。そしてすべての悪に打ち勝ってイエス様の十字架の勝利の中で生きる事が出来るようになります。

黙示録12:11 「兄弟たちは、小羊の血と、自分たちのあかしのことばのゆえに彼に打ち勝った。彼らは死に至るまでもいのちを惜しまなかった。」

ここにサタンに打ち勝つ為の二つの事が書いてあります。「子羊の血と自分たちの証の言葉のゆえに」という部分です。世の罪を取り除く神の子羊の血、当然これは十字架で流されたイエス様の血で、それと自分達の証の言葉、とあります。

これは少し説明する必要があるでしょう。今の教会用語で言うと、証は人生でどのように導かれてイエス様を信じるようになったか、と言う意味になっていますが、それは常に、毎日のようにする機会はありませんから、聖書の中でいう証はそれだけではありません。他の聖書箇所では人の前で「自分はイエス様の信者だ」と言う事が証をする人、として訳されています。一言でも、人前で信者だと表す言葉を述べるなら、すべて証として認められるのです。とにかく、自分はイエス様の信者だと隠さないことです。人に押し付ける必要もありませんが、自然に機会があれば、言うのです。その準備をしておけば、神様は自然に言える機会を与えて下さいます。

第一ペテロ 3:15 「むしろ、心の中でキリストを主としてあがめなさい。そして、あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでもいつでも弁明できる用意をしておきなさい。」

ペテロは失敗によってこの事の大切さを学びました。最初の弟子達の一番のリーダーでいつも「男の中の男」でしたが、女の子の質問に負けてしまい、イエス様を知らないと答えてしまいました。

そんな人がその後で何千人もの人の前で「あなたがたは神の子キリストを殺してしまった」と力強

い証をして、一度に 3000 人もの方が導かれてクリスチャンになりました。ですから、失敗しても終わりではなく、諦めないで少しでもイエス様の信者だと明らかに表すならば、神様の力は自分の上に働いて全ての悪に打ち勝つ勝利が与えられます。

使徒の働き1:8「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」ここで証人と訳されている言葉は同じ言葉です。証は一言だけでもよく、常にいつでも、どこでも、出来ます。すればするほど神様の全能の力が自分の上に、また自分の中に働いて下さいます。そしてそれが悪魔に打ち勝てる唯一の力です。

3. 十字架による癒し。

第一ペテロ2:24「そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです。」

2:25 あなたがたは、羊のようにさまよっていましたが、今は、自分のたましいの牧者であり監督者である方のもとに帰ったのです。」

この箇所にはいくつかの解釈があります。つまりここに書いてある「いやし」という意味についていくつか解釈があるのです。

まず一番大切な解釈はと言いますと、イエス様は私達の魂の牧者と監督者と書いてありますから、間違いなく「魂の癒し」と解釈が出来ます。聖書には、全ての人は罪の為に魂が死んでおり、神様の命から離れていると書いてあります。イエス様は私達の罪を赦してきよめ、神様の命である聖霊を心に入れて下さり、魂を生き返らせて下さるから、魂の完全な癒しなのです。

ですが、聖書のイエス様の十字架はそれだけではありません。十字架の贖いによって信者の体も完全に救われると教えています。イエス様は復活した栄光の体で40日間、何回も弟子達の前に現れてくださいました。全ての信者に同じ栄光の体を約束して、永遠に二度と病気にならない約束もしてくださっています。全てのイエス様の信者の体が完全に癒されるのはただ時間の問題です。今でも、その証拠として、その人に対する神様の計画であれば、奇跡的な肉体の癒しも体験出来ます。

初代教会の使徒達の中でもパウロは、一番多くの方が癒される為に用いられた人かも知れません。一度死んだ人の為に祈って生きかえらせた経験もありました。しかし、自分自身は肉体のとげとして体の病を与えられ、3回祈っても神様は癒されませんでした。逆に神様ははっきりした答えとして、その病は神様の守りとして与えられた、と言われました。

私達はもちろん、体の癒しの為に祈る事が出来ますが、今すぐに癒されるか後に癒されるかは神様の決める事です。はっきり言えるのはイエス様の信者の体も完全に癒されるのは既に決まっているから、ただ時間の問題だけ、ということです。

詩編103:2「わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。」

103:3 主は、あなたのすべての咎を赦し、あなたのすべての病をいやし、

103:4 あなたのいのちを穴から贖い、あなたに、恵みとあわれみとの冠をかぶらせ、

103:5 あなたの一生を良いもので満たされる。あなたの若さは、わしのように、新しくなる。」

聖書の全ての約束はイエス様によって「しかり」となった、と書いてあります。つまり、イエス様の信者全ての為に神様は全ての約束を実現して下さいます。

「あなたのすべての咎を赦し、あなたのすべての病を癒し、」という約束もイエス様のすべての信者のものです。

まとめ

今日は、イエス様の十字架とそこで私達の為に流された尊い血潮に心から感謝して聖餐式をしましょう。